

兵庫県立芸術文化センター プロデュース

# sound theater III

サウンドシアターIII



撮影:吉田多麻希



「sound theater」は毎回パフォーマーとミュージシャンの競演!

今回は石川直と向井航が「sound theater」にカムバックし、  
平山素子と上松美香が初登場、稻本渡と寺嶋千紘は3年連続出演  
強力なメンバーで上演し 昨年、一昨年同様に完売必至の公演!

平山素子が「ボレロ」を舞う

出演 平山素子 上松美香 稲本渡 寺嶋千紘 向井航 石川直

2013

10/19

[土] 5:00PM開演 (4:30PM開場)

.20

[日] 2:00PM開演 (1:30PM開場)

4,000円

(全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス3分)

一般発売

4/14 日

芸術文化センター会員先行予約受付開始

電話予約

- 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
- チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード 191-378】
- ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応) 0570-084-005【Lコード 54181】

インターネット予約

- 芸術文化センター <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- e+(イープラス) <http://eplus.jp>
- チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com>

4/12 ◎

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【4月16日(火)より、残席がある場合のみ】、ローソン、サンクス、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK

※未就学児はご入場いただけません。やむをえない事情により、公演内容、出演者に変更が生じる場合がございます。その場合はチケットの払い戻し等は行いませんので予めご了承ください。

お問い合わせ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問合せください。

主催/兵庫県 兵庫県立芸術文化センター 企画・製作/兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立  
芸術文化センター

# sound theater III

## 平山 素子〈ダンス〉 Motoko Hirayama

愛知県出身。5歳よりバレエを始める。筑波大学に進学し、同大学院体育研究科コーチ学専攻を修了(体育学修士)。その後、H・アール・カオスに参加し、2000年まで北米ツアーや北欧公演に出演。1999年世界バレエ&モダンダンスコンクールにおいて金メダルとニジンスキ賞をダブル受賞(モダンダンス部門)し、「強靭な肉体、繊細な技巧、ダイナミックな表現力」と評される。01年文化庁派遣在外研修員としてベルギーへ留学。帰国後は、フリーランスで数多くのプロジェクト公演に参加。05年より本格的に振付家としての活動も始める。主な活動は05年兵庫県立芸術文化センター開館記念公演において、ニジンスキ賞受賞初演版『春の祭典』に、いにしえの乙女役で主演。近年は振付家としての評価も高く、06年ボリショイ劇場バレエ団において『Revelation』をS・ザハロワに提供。新国立劇場公演07年『Life Casting—型取られる生命—』で朝日舞台芸術賞を受賞。08年『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣賞新人賞、江口隆哉賞を受賞。ソロ活動としては、美術家との共演により、08年フランクフルトと上海で『DANAE—Sonzai Design』を上演。10年あいちトリエンナーレでの作品発表など、多くのアートフェスティバルにも出品。また、無重力空間でのダンス実験に参加するなど、洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして日本のダンスシーンをリードする存在である。兵庫県立芸術文化センターには、05年『春の祭典』のほか、09年『Life Casting—型取られる生命—』、10年『ストラヴィンスキイ・イブニング』(共に新国立劇場制作)、11年『After the lunar eclipse/月食のあと』に出演。02年より筑波大学人間総合科学研究科准教授。

## 上松 美香〈アルバ〉 Mika Agematsu

長野県出身。13歳の頃より母親でアルバ奏者のクリスティーナ・上松にアルバを習い始める。15歳でパラグアイへ渡り、パラグアイ国最大の音楽祭「グアランバレフェスティバル(フェスティバル・デ・タカアレ)」において、日本人として初めて演奏し、「特別賞」を受賞。またアグスティーン・バルボーサ音楽財団より金メダル受賞。1999年、17歳の時に第2回全日本アルバコンクールで優勝。同年、メキシコシティーで行われた、ラテンアメリカ・アルバ・フェスティバルに出演し熱狂的なスタンディング・オペーションを受ける。2000年、キングレコードより全曲自身のアレンジによる春のソロアルバム「INOCENCIA」でデビューし、14週連続でチャートインを果たす。以後、2年間で5枚のアルバムを発表。年間200本以上の公演に加え、メディアにも多数出演し日本全国にアルバを広める。03年、活動を一時休止してアイルランドやパラグアイなどに渡航し、更なるアルバの世界を広げ作曲活動に専念。04年、ユニバーサルミュージックへ移籍。05年ユニバーサル移籍第一弾として、オリジナル曲を中心としたアルバム「mika AGEMATSU」を発表。同年、先駆的活動をしている女性に贈られる「エイボン芸術賞」を受賞。06年、名作アニメの音楽を、アルバの技巧・音色を駆使した初のアニメカバー・アルバム「ANIPA(アニバ)」や、STB139スイートペイジルでのライブDVD「上松美香LIVE!~2006・春~ MIKA AGEMATSU LIVE - 2006, SPRING -」を発表。07年、自分が理想とするラテン音楽を創るために新ユニット"Cruz"を結成し、アルバム「Cruz del Sur(クルス・デル・スル)/ 南十字星」を発表。長野県信毎文化事業財団より文化・スポーツ活動などで優れた業績をあげ社会に貢献した人に贈られる「第12回信毎選賞」を受賞。08年4月よりBSジャパン「写真家たちの日本紀行」番組メインテーマを担当、自身初の全曲アルバソロによるギターの名曲カバーアルバム「カヴァティナ」を発表。同年、東京フィルハーモニー交響楽団と共に南米パラグアイ国において初のオリジナルコンサート「シンフォニア・デ・アルバ2008」を開催し、満席の観客よりスタンディング・オペーションを受け、大成功を収めた。同時に「グアランバレ音楽祭」「第2回世界アルバフェスティバル」にも出演。09年、デビュー10周年特別企画盤「上松美香ベストArco iris~虹~」、「青春の輝き~上松美香 Playsカーペンターズ」を発表。10年、70台のアルバがステージに並ぶ「グランフェスティバル2010を主宰し、成功を収める。近年は、コンサート、学校公演やCD制作を柱とし、著名アーティストとの共演も多く、演奏家・作曲家としての活動の場を広げている。一方で後進の指導も積極的に行い、人気・実力共に日本を代表するアルバ奏者として活躍。

## 稻本 渡〈クラリネット〉 Wataru Inamoto

大阪・堺生まれ。音楽一家での音楽活動の中で育ち、5歳でステージデビュー。吹奏楽の名門大阪府立淀川工業高校吹奏楽部で部長・コンサートマスターを兼任し、全日本アンサンブルコンテスト金賞、全国選抜大会史上初の春・夏グランプリ等を受賞。高校卒業後、オーストリア国立グラーツ音楽大学に入学。国際音楽週間2001年度・02年度のオーストリア代表に選ばれ、Yehudi Menuhin 奨学生としてもヨーロッパ各地で活躍。同音楽大学を満場一致の最優秀で卒業。オーストリア国立放送にソリストとして出演、オーストリア・グラーツ国際音楽院講師も務めた。その後、活動の場を日本に移し、08年～11年は佐渡裕率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に所属。一方、京都御苑での奉納演奏、村治佳織、藤原道山らとの珠響～、バレエダンサー西島千博、ドラマー石川直との共演、「星の王子様」「弥々」(共に毎日演劇賞受賞)、「イブラヒムおじさんとコーランの花たち」(高嶋政伸主演)など舞台にも出演。映画「スープ・オペラ」には音楽家役で出演するなど多方面で活躍、メディアにも多数取り上げられている。また各地でコンクールの審査員も務め、吹奏楽クリニックを行なうなど後進の指導にも尽力している。音楽雑誌「バンドジャーナル」にワンポイントレッスンを13年3月まで連載。12年、大阪・中之島に音楽プロデュースで参加するライブハウス・レストラン「Saint-Louis Amuse」がオープンした。

## 向井 航〈チェロ〉 Wataru Mukai

東京芸術大学音楽学部附属音楽高校、東京芸術大学、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。在学中からスタジオミュージシャンとして活動し、これまでX JAPAN、TUBE、浜崎あゆみ、松田聖子などのアーティストのレコーディングやライブで演奏。また、ヴァイオリニスト室屋光一郎と『クラスタシア』を結成し、アルバムCDをリリース。2010年茅原美里のカヴァーアルバム「Unification」がオリコンチャート入りを果たす。フジテレビ「のだめカンタービレ」のドラマ及び映画の演奏指導に携わり、「のだめオーケストラ」にも首席チェロ奏者として参加する。06年CHANELビッグマリオンデイズのアーティストに選出され、CHANEL銀座ネクサスホールにおいて年間10回のソロリサイタルを開催し、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」など、メディアにもとり上げられる。07年関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者に就任。08、09、10年には世界的ヴァイオリニスト、オーギュスタン・デュメイ氏と室内楽で共演。ソリストとしても99年札幌交響楽団、08年関西フィルハーモニー管弦楽団と共に演奏。09年久石譲ミニマリズムツアー2009において、「Departures」(映画・おくりびと)を久石譲指揮・関西フィルと共に演奏。オーケストラメンバーハウスとして1999年サイトウキンフェスティバル若い音楽家のための室内楽勉強会、99-02年小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト音楽塾オーケストラなどに参加。

## 寺嶋 千紘〈ピアノ〉 Chihiro Terashima

大阪府出身。神戸大学卒業後、ドイツ・ハンブルクへ留学。International College of Music, HamburgにおいてMaster of Performanceコースを最優秀の成績で卒業。さらに国立リューベック音楽大学で研鑽を積む。ヨーロッパ各地で数多くのマスタークラスを受講。2007年テラモ国際音楽コンクール第1位(イタリア)。08年にはCD制作、またハンブルクと大阪でリサイタルを開催。帰国後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。10年大阪(現・日本)センチュリー交響楽団とシューマンのピアノ協奏曲を共演。現在は関西を中心にソロ、歌曲伴奏、室内楽と幅広く演奏活動を展開。伴奏ピアニストとしては、NHK-FM名曲リサイタルの公開収録に出演するほか、パリ管弦楽団をはじめ海外のオーケストラ奏者とも共演している。

## 石川 直〈ルーディメンタルスネアドラム〉 Naoki Ishikawa

15歳からバーカッションを始める。1994年アメリカのドラムコー「The Cavaliers」に入団、翌年ドラムコー・インターナショナル(DCI)で優勝、同時にベストバーカッション賞受賞。96年DCIのスネアドラム・ソロ部門に初出場で個人優勝。97年移籍した「The Blue Devils」がDCIで優勝し、ベストバーカッション賞も再び受賞。同年、PASIC(Percussive Arts Society International Convention)のマーチングスネア・ソロコンテストで優勝。98年日本のドラムコー/マーチングバンド界で指導を始める。99年再び渡米、大学に通いながらプロオーケストラ「チャタヌーガシンフォニーオーケストラ」に入り、再度出場したPASICでは2度目の優勝。2000年「blast」に入団。アメリカ国内ツアーや、イギリスのロイヤル・バラエティー・ショーに出演する。01年2月にはNBAオールスターゲームのオープニングセレモニーに出演。同年4月にプロードウェイに進出、圧倒的なテクニックで、唯一の日本人メンバーとして5月にはソリストに選ばれる。「blast」は03～05年、07年、09年、12年の夏に日本公演を行い、全体をまとめる中心的な役割も果たす。また、堂本光一主演の「Endless SHOCK」に05年～13年の9年間、ショーの一部の構成、指導、出演を続けている。08、09年には自身の企画「石川直 Solo Project」を成功させた。パフォーマンス、指導、作曲、編曲、構成、企画等において、クラシックからアンダーグラウンドまで幅広い活動範囲を持つ。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

**兵庫県立芸術文化センター**  
Hyogo Performing Arts Center

**先行予約会員募集中!**

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

## 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

